

宇和島市の子育て支援における課題と解決策

1年2組 中田 葵 1年2組 二宮 咲 1年2組 牧野 柚穂
1年3組 生谷 響 1年3組 松野 天瑠
指導者 坂上 舞

1 課題設定の理由

南予地域では、若年層の都市への人工流出を一因として少子高齢化が進み、人口減少が進んでいる。私たちはこれらの問題に、地域での子育て支援のあり方が改善に関係しているのではないかと考えた。そこで私たちの住んでいる宇和島市での子育て支援の現状を知り、地域の課題を明確にしたいと考えこの課題について調査した。

2 仮説

- (1) 宇和島市の子育て支援は利用者である保護者に知られていないのではないかと。
- (2) 宇和島市では、高齢化への対策が中心となり子育て支援が充実していないのではないかと。

3 調査・研究の方法

- (1) インターネットやビデオ視聴での事前学習
日本の子育て支援の現状について調べてまとめた。
- (2) アンケート調査
山内産婦人院、萩山医院寿レディースクリニックを訪れた患者さんと宇和島東高校の先生方計41名を対象に行った。
- (3) インタビュー
宇和島市役所で子育て支援の現状と課題について伺った。

4 結果と考察

(1) アンケート結果

アンケート結果から73%の人が子育て支援を利用しているおり、その多くは保育所等の利用であった。要望としては子育てと仕事の両立支援や、子育てについての相談場所を求める人が多い。また、今回の結果からは宇和島市での待機児童の問題は確認できなかった。

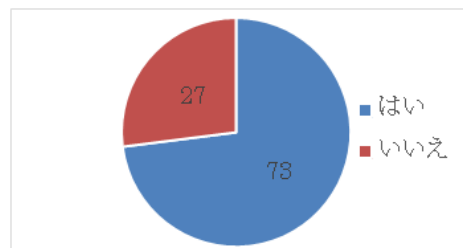


図1：子育て支援制度の利用

- ① 子育て支援制度を利用したことがあるか。(41名回答)

アンケートの結果(図1)より、約7割程度の方が子育て支援制度を利用していることが分かった。

- ② 宇和島市が行っている支援で知っている、利用したことがあるもの。(41名回答/複数回答)

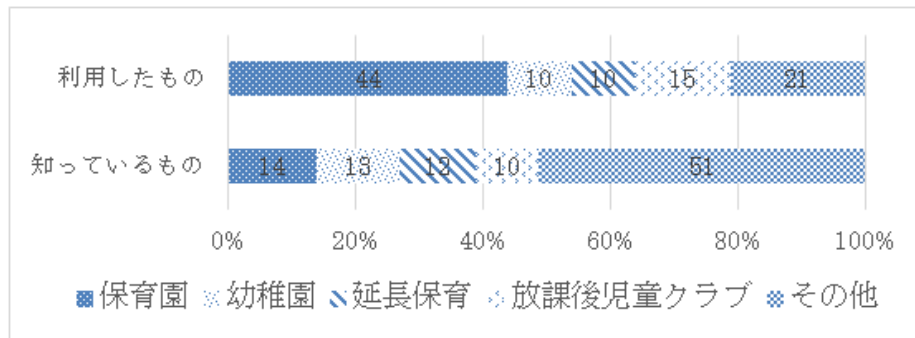
アンケートの結果(図2)より、最も利用したことがある支援は「保育園」であり、それに付随して「延長保育」や「放課後児童クラブ」の回答数も多かった。

- ③ 子育てをするうえで大変だったこと、困ったこと。

- ・妻のストレス ・仕事と子育ての両立 ・子供の急な病気
- ・学校行事に参加できない ・寝ない、粉ミルクや薬を飲まない ・離乳食を食べない
- ・近場に助けてくれる人がいない ・1人での育児 ・上の子の世話
- ・外出時に授乳室やおむつ替えシートが少ない

- ④ 子育て支援に関する要望。

- ・教育費を安くしてほしい ・職場内に託児所がほしい ・病児保育の充実
- ・延長保育の充実 ・ファミリーサポートの充実



「知っているもの」の『その他』の内訳

・認定保育園(12名) ・病児保育(13名) ・夜間保育(1名) ・子育て相談(22名)

図2：子育て支援制度の認知・利用内訳

(2) 宇和島市役所へのインタビュー結果

宇和島市は子育て支援の充実を通して2020年の出生数1.9人という目標を達成しようとしている。(2008～2012年1.63人)そのため、子育て支援を充実させることで、安心して子どもを産み育てることができる環境の実現を目指しており、様々な子育て支援を行っている。しかし、保護者の要望からは両立支援や相談場所を求める人が多いことが分かった。このことから、支援はあるが利用しにくい、または支援事業について知られていないことが考えられる。例えば、「子育ての悩みを市役所まで相談に行くほどではない。」と考えてしまうのではないかと考える。気軽に相談できる施設や、周知する方法を新たに考えていきたい。

① 子育てに関する課題(市民からの要望例)

・児童館がない。

→現在図書館と児童館のような機能を持った施設を駅前に設置することを検討中

・子供を育てられる環境にない。(環境・支援面)

② 現在行っている政策

<仕事と子育て両立支援・相談支援>

ファミリーサポートセンター事業...活用件数年間約1,000件(保育園の迎えが中心)

病児保育...定員4名(活用率

その他...一時預かり、育児サークル、子育て支援コーディネーターの配置(市役所内)

<経済的支援>

保育料の減額...2人目半額、3人目無料

子育て応援給付金の支給...新生児1人につき100,000円(平成28年4月1日から)

5 まとめと今後の課題

少子高齢化が進んでいる今、人口減少は避けられない。その中で、子育て支援が、人口減少を抑えるカギとなることが分かった。今回の研究から宇和島市でも、育児不安や育児ストレスを抱えている家庭がたくさんあることが分かった。子育て支援が充実し、利用者のニーズに応えられることができれば宇和島市が目標としている出生数1.9人を達成できるのではないだろうか。これからの私たち若い世代の活躍が、今後の子育て支援のカギとなるよう宇和島で子どもを生みたいと思えるには何が必要か考えていきたい。

謝辞

アンケートに協力して頂いた、山内産婦人院・萩山医院寿レディースクリニック、市の子育て支援についてお話しして頂いた宇和島市役所に感謝する。

参考文献

・『まち・ひと・しごと創生 宇和島市総合戦略 一概要版一』(2016) 宇和島市